

県政記者室 様

高知県健康づくり婦人会連合会
会長 熊田 敬子



令和 5 年度複十字シール運動について(取材・報道依頼)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は当会の事業に対しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記複十字シール運動につきまして、本年度も高知県健康対策課のご協力のもと 8 月に知事への表敬訪問や県庁募金活動を実施したいと考えております。職員の皆さまに複十字シール運動募金のご協力を下記のとおりお願いさせていただきたく存じます。

公務ご多用のこととは存じますが、職員の皆様には複十字シール運動の意義及び目的をご理解いただき、ご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

◎ 知事表敬訪問：令和 5 年 8 月 22 日(火) 16 時 15 分 ～ 16 時 35 分

※結核の現状と複十字シール運動の意義、趣旨説明・募金活動等のお願いをします。

◎ 複十字シール運動募金

- ・ 募金依頼部署：本庁舎、西庁舎、北庁舎、保健衛生総合庁舎、高知県警察本部
- ・ 趣 旨：結核のない世界をつくるため、複十字シール運動募金で集めた資金により、結核予防の普及啓発や結核予防団体の支援・調査研究、国際協力に寄与するため
にお願いするものです。
- ・ 募金振込み期間：令和 5 年 8 月 22 日(火)～9 月 29 日(金)

以上

連絡先：高知市棧橋通 6-7-43
公益財団法人高知県総合保健協会
総務課 東・中平
Tel 088-831-4800



別紙 A

令和 5 年度複十字シール運動実施計画

公益財団法人結核予防会

1 複十字シール運動の趣旨

複十字シール運動は結核やその他胸部疾患の予防を目的として、昭和 27 年より始めました。毎年、各都道府県の結核予防会支部並びに全国結核予防婦人団体連絡協議会と連携し、「複十字シール」を通して結核という病気を正しく理解してもらうための普及啓発活動や、その実現のための募金活動を行っています。

令和 3 年、新たに結核患者として登録された者の数（新規登録患者数）は 11,519 人、人口 10 万対比の結核罹患率は 9.2 に減少し、日本は結核低まん延国となりました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による受診の控えや入国制限による外国出生者の減少などが罹患率の低下に影響している可能性も考えられていることから、今後も結核の根絶に向けて対策の手を緩めることなく一層の推進を図ることが求められています。それを踏まえ、今年度も必要時には基本的な感染対策を行い、結核の正しい知識の普及に取り組んでまいります。

- | | |
|--------|--|
| 2 主 催 | 公益財団法人結核予防会 |
| 3 後 援 | 厚生労働省、文部科学省、公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会
(予 定) |
| 4 運動期間 | 令和 5 年 8 月 1 日から 12 月 31 日まで |

5 運動方法

1) 募金方法

- ①組織募金：支部と婦人会が中心となり、各自治体・保健所・事業所・学校・衛生団体等地域の各種団体に募金の協力を依頼する。
- ②郵送募金：個人・法人宛に、複十字シールと趣意書、リーフレット等を郵送して、募金の協力を依頼する。
- ③オンライン募金：ホームページ上からのクレジットカード決済等による募金。
- ④寄付型自動販売機：オリジナルラッピングされた寄付型自動販売機による募金。支部を募金窓口とする体制を整え、設置の推進を図る。
- ⑤古本募金：古本等の買い取り相当額による募金。

2) 複十字シール・封筒の製作数

①複十字シール

大型シール（24面綴り）	128,000枚
小型シール（6面綴り）	987,850枚
小型シール（シールぼうや図案）	130,000枚

②シール・封筒組合せ

封筒3枚、小型シール（6面綴り）1枚入 193,850組

3) 広報・啓発活動等

- ①キャンペーン等を実施する。
- ②中央講習会等において、運動の担い手である婦人会会員の知識・意識の向上を図る。
- ③運動の周知と協力依頼の資材として、ポスター・リーフレットを制作・配布する。
- ④運動の周知と啓発用の資材として、シールぼうやイラスト入りのグッズを制作・配布する。

6 募金の使途予定

- 1) 普及啓発（結核予防全国大会、研修会、広報や教育資材の作成、結核予防週間事業等）
- 2) 国際協力（開発途上国の結核対策、人材育成等）
- 3) 事業助成（全国の結核予防団体の活動）
- 4) 結核等の調査研究

令和4年度複十字シール運動募金結果報告（第71回）

1. 運動期間	令和4年8月1日～12月31日（5ヶ月間）	
2. 募金目標額	2億4千万円	
3. 複十字シール及び封筒制作数		
	大型シート（24面綴り）	130,300枚
	小型シート（6面綴り）	796,100枚
	小型シート（シールぼうや図案）	123,300枚
	複十字シール・封筒組合せ	193,850組
4. 募金収入	146,199,939円	
5. 募金費用	37,297,308円	
6. 事業費（上記4-5）	108,902,631円	
7. 事業費内訳		
（1）結核予防の広報や教育資材の作成（普及啓発）		47,762,565円
（2）開発途上国の結核対策・人材育成（国際協力）		38,324,862円
（3）全国の結核予防団体の活動（事業助成）		22,193,364円
（4）結核等の調査研究費		621,840円

大切な人が「結核」になったら...
あなたがそう想うだけで
地球の明日は
変えられる。



「複十字シール運動」実施!
8/1(火)～12/31(日)

あなたの愛が、結核のない世界を創ります。
結核をなくすための「複十字シール運動」に
ご協力ください。(募金は随時受け付けています)

たすけあ/ペンコ

【主催】**公益財団法人結核予防会**
Japan Anti-Tuberculosis Association (JATA)

【後援】厚生労働省 / 文部科学省 /
公益財団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会

ごあいさつ

複十字シール運動は、1952年に結核予防を国民の協力を得て進めていこうという趣旨の下に始まりました。以来、全国の結核予防会支部・婦人会と連携し運動を進めています。

昨年、日本の結核罹患率が人口10万人あたり9.2となり、10を割って結核中まん延国から結核低まん延国化を果たしました。しかし、新型コロナウイルス感染症による受診控えや入国制限による外国出生者の減少などが影響している可能性があるとも考えられています。

2023年3月の世界結核デーのテーマは「YES! We Can End TB(イエス! ウィ・キャン 結核終息)」でした。結核は人から人にうつる感染症です。結核ゼロを目指して、結核予防会は今後も結核制御の手を緩めることなく、国内外の活動の強化に努めてまいります。複十字シール募金への皆さまのご支援ご協力をお願い申し上げます。



尾身 茂
結核予防会 理事長
公益財団法人
Japan Anti-Tuberculosis Association

結核予防会とは

日本で結核がまん延していた昭和14年に設立された公益法人。設立以来、日本と世界から結核をなくすための活動を続けています。

運動のはじまりと複十字シール

1904年にデンマークでツリスマスシールが発行され、その益金は結核に苦しむ人々のために役立てられました。シールを使用した募金活動は世界に広がり、現在も各国で行われています。結核予防会は1952年に最初の複十字シールを発行。募金をいただいた方に差し上げる同シールには、健康を願うメッセージが込められています。シールをお使いいただくことで、運動の輪が広がります。

複十字章 **卄** は世界共通の結核予防運動のシンボルです

お問い合わせ 複十字シール募金は、下記にて受け付けています。
どうぞお気軽にご相談ください。

公益財団法人高知県総合保健協会
(結核予防会 高知県支部)
〒781-9513 高知県高知市棧橋通六丁目7番43号
TEL 088-831-4800
<https://www.hokyo.or.jp>



マンガでわかる!

『知らないって恐ろしい!』
『現代・結核物語』

「結核は昔の病気だと思っ



END

DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2023

† JAPAN ANTI-TUBERCULOSIS ASSOCIATION Designed by Toru Asai



復十字
シール

みんなの力で結核や肺がんをなくすために
イラストレーション・グラフィックデザイン：あさいとある

† 公益財団法人結核予防会